

図書館通信

市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町 市塙147

TEL 0285-68-4380

URL <http://www.library.ichikai.tochigi.jp/>

としょかんのひとりごと

検索

ブログはこちら



2月

の催しもの

★バレンタインプレゼント

期間：2月14日（金）※なくなり次第終了
 内容：本・CD・DVDを借りた方に、いっとくんからバレンタインのプレゼントをさし上げます。ご希望の方はどうぞお早めにご来館ください。

★ダンボの会のおはなし会

日時：2月23日（日）10：30～（50分程度）
 場所：1階 おはなしコーナー
 内容：絵本や紙しばいの読み聞かせ・手遊び・折り紙遊び・エプロンシアター・パネルシアターなど。今年度のおはなし会は今回が最後となり、次回は4月以降を予定しています。みなさんでぜひお楽しみください。

★しょうちゃんと遊びま専科

「かんたん！すごい！びっくり工作」
 日時：2月29日（土）14：00～15：30 ※要申込
 場所：2階 企画研修室
 定員：15名
 （低学年以下保護者同伴）
 内容：リサイクル用品を使って動くおもちゃを作ります。参加ご希望の方は、カウンターまたはお電話でお申込みください。



お問い合わせ 市貝図書館 ☎68-4380

★歴史民俗資料館のイベント

第38回企画展「縄文の謎」
 日時：2月8日（土）～3月22日（日）
 ※休館日は図書館に同じ
 内容：縄文時代の遺物を展示し、市貝町の縄文時代について学びます。



お問い合わせ 中央公民館 ☎68-0020

ツイッターでも情報配信中！



市貝町立図書館『いっとくん』
 @ittokun_ichikai



★第8回いちかい図書館まつり無事終了★
 図書館まつりで、利用者様・出店者様から頂いた募金金額は、12,944円でした。ありがとうございました。募金は全てコミックスの購入に充てさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。イベントの様子は裏面をご覧ください。



★図書館アンケートにご協力いただきありがとうございました★

1月中、館内に於いて図書館アンケートを実施しました。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。いただきました貴重なご意見を、これからの図書館運営に活かしていきたいと思っております。ご意見への回答は、次年度館内に掲示またはブログに掲載しますので、ぜひご覧ください。



★しょうちゃんコレクションが新しくなりました★

当館顧問のしょうちゃんは、自他ともに認めるコレクターです。館内入口付近に「しょうちゃんコレクション」コーナーを設けています。今回のテーマは「鉄道・バス記念切符コレクション」です。昔なつかしい車掌さんがパチンとしてくれた大きな切符や、レアすぎるオレンジカード・古い時刻表など、ショーケースいっぱいのコレクションをお楽しみください。



図書館カレンダー 開館時間9：30～19：00

2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31※				

■…休館日

※月末資料整理日





★第8回いちかい図書館まつりにご来場いただきありがとうございました★
イベントの様子をご紹介します☆

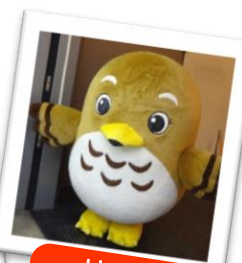
おたのしみ抽選会



古本リサイクル市



図書館カード入れ作り



サッチャン & サシバード

アルミ缶回収



音楽と読み聞かせの世界へようこそ



ダンボの会のおはなし会



この穴めがけて入れてみよう!!



フードコーナー & フリーマーケット



ぬりえ「ステキないっとくん」を作ろう♡



次回も
よろしく
お願いします



お問い合わせ 市貝図書館 ☎68-4380

決定! 第162回芥川賞・直木賞

1月15日、第162回芥川賞・直木賞の受賞作が決定しました。毎回どんな本が選ばれるのか誰もが楽しみにしている賞です。図書館では候補作を含め、特集コーナーを設置していますのでぜひご利用ください。

芥川賞 『背高泡立草』古川 真人 // 著

小説すばる(雑誌)2019年10月号掲載
江戸期に賑わった捕鯨の話など、島を往来した人々の歴史を随所に挟み、豊かな生の営みと分厚い時間の層を浮かび上がらせる。一番は、書名に興味が湧きました。どんな展開が待っているか受賞作品をお読みください。

直木賞 『熱源』川越 宗一 // 著(文藝春秋)

アイヌ民族らを主役に、壮大なスケールで人と人が共に生きる姿を描く。明治維新後、樺太のアイヌに何が起こっていたのか。見た事のない感情に心を揺り動かされる。実在の人物や史実をベースにした歴史小説。胸が熱くなる受賞作品をお読みください。

※芥川賞・直木賞受賞作ともに準備中です(1/24現在)

しゅうちゃん の ひとりごと



昨年の暮れ、スポーツ庁で小学5年と中学2年を対象に実施した2019年度全国体力テストの結果を発表した。その中で本県の5年男子がソフトボール投げで全国最下位となった。私たちの小さい頃は、学校から帰ると畑や空き地などでキャッチボールなどをして毎日のように遊んでいた。では、今の子供たちはどうだろう。県教委では「アンケートでもゲームやスマホをやる割合が増加している」と分析し、運動機会の減少を挙げている。中学生男子も持久走で大きくダウン、急落といっても過言ではなくてきている。

私もここ久しく戸外で遊んでいる子供たちの姿を見たことがない。専門家は「よく食べ(調和のとれた食事)よく動き(適切な運動)よく眠る(十分な休養と睡眠)」という健康3原則を踏まえた基本的な生活習慣を身につけることが重要、と話される。生活の利便さと子どもの生活の変化もあげられるが、私は、「運動をしなさい」という押しつけの方向ではなく、運動をしたくなるように社会が何ができるか、運動は楽しいよという仕組みをいかにつくっていくかが課題だと思っている。今後、さらに体力が落ちるのではないかと危機感を募らせています。